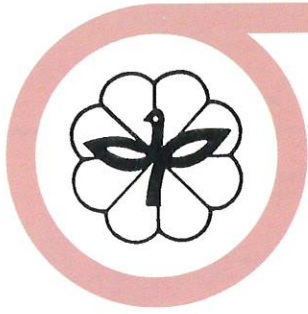




いきいき

2021
1月
第35号

伊丹市民生委員児童委員連合会



荒牧バラ公園

伊丹スカイパーク



民生委員児童委員信条

- 一、わたくしたちは隣人愛をもって
社会福祉の増進に努めます
- 一、わたくしたちは常に地域社会の
実情を把握することに努めます
- 一、わたくしたちは誠意をもってあらゆる
生活上の相談に応じ自立の援助に努めます
- 一、わたくしたちはすべての人々と協力し
明朗で健全な地域社会づくりに努めます
- 一、わたくしたちは常に公正を旨とし
人格と識見の向上に努めます

◆目次◆

新年のごあいさつ	P2
サロン活動紹介	P3～4
ブロック会	P5
お知らせ	P6



新年のご挨拶

伊丹市民生委員児童委員連合会
会長 小林 育子

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

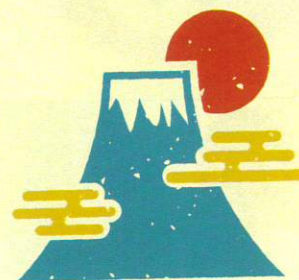
昨年はコロナで始まり、コロナに暮れた1年でありました。今まで当たり前に行ってきたことが出来なくなり、不自由な生活を余儀なくされました。

しかし、必ずしも悪いことばかりではありません。一人ひとりが立ち止まって考える時間を与えられました。そして委員の皆様方と共に考え、模索しながら高齢者の方々等の見守りを行ってまいりました。本年はウィズコロナ禍で培った心と体をもってあきらめることなく歩んでいきたいと存じます。

どうか委員の皆様方におかれましても、健康に留意の上、ご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



新年の挨拶



「人の絆 まちの輝き 未来へつなぐ 伊丹」の実現へ

伊丹市長
藤原 保幸



明けましておめでとうございます。

民生委員・児童委員の皆さまには、お健やかに令和3年(2021年)の初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、今年は、この4月から向こう8年間で計画期間とするマスタープラン、第6次伊丹市総合計画が新たにスタートします。「人の絆 まちの輝き 未来へつなぐ伊丹」をまちの将来像として、市民相互のつながりや支え合いを大切に、市民の参画と協働を一層進め、これからも誰もが住みやすいと感じられる持続可能なまちをつくっていきます。

一方、昨年から続く新型コロナウイルス感染症は市民生活に大きな影響を与え、感染拡大に歯止めがかからない状況です。

今年の市政運営におきましては「コロナ対策」をしっかり進めるとともに新しい時代の動きに積極的に対応し、市民サービスの向上を図っていきます。

民生委員・児童委員の皆さまにおかれましては、子育てや介護の悩みを抱える方、障がいのある方や高齢者など、特に支援が必要な方との相談業務や伊丹市や伊丹市社会福祉協議会、各小学校区の地域コミュニティといった組織とのパイプ役として、地域福祉の推進に大きな役割を担っていただき、大変心強く感じているところです。

コロナ禍の中、日々大変ご苦勞されておられると存じますが、今後ともより一層のご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後となりますが、伊丹市民生委員児童委員連合会の益々のご発展と、皆さまにとって本年が、幸多い年となりますよう心からお祈り申し上げます。

誰もが自分らしく安心して暮らせるまちづくり

伊丹市社会福祉協議会
会長 川村 貴清



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかな新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

平素は、当会の事業展開・運営に対しまして、格別のご理解とご支援、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

社会の仕組みや有り様が、そして生活課題が多様化・複雑化している中、引き続き新型コロナウイルス感染症への対処は、社会生活を大きく変容させています。

そうした中、民生委員児童委員の皆様におかれましては、これまで以上に人と人とのつながりを大切に、工夫を凝らした支援、見守りなどの活動を展開されています。

本会といたしましても、第7次地域福祉推進計画を基軸に、民生委員児童委員の皆さんをはじめ、地域やさまざまな活動主体とのつながりと連携・協働により、ひとを、地域を元気にし、安心して暮らしていけるまち、ともに支えあう地域共生社会の一層の推進に取り組んでまいります。

伊丹市民生委員児童委員連合会のますますのご発展、民生委員児童委員、主任児童委員の皆様おひとりお一人のご健勝とご多幸を心からお祈り致します。

本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

神津校区

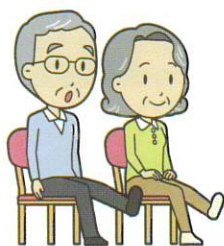
校区内には4つのサロンが工夫を凝らし開設されています。ボランティアによる落語を聴いたり、手作りの食事を提供したりしているサロンもあり交流の場になっています。



サロンひょうたん

利用者18名・ボランティア14名

秋にはイスに座ってできる運動会（風船送り・輪投げ・パン食い競争など）春には桜を見に外へ食事に行っています。他に歌を歌ったり、季節の工作（紙ひな・カブト・花など）をしたり、漫才のビデオを見たりして



います。何か新しい事ができないかなと考えながら、ゲストさん達が気軽に来られて楽しんで帰って頂けたらと思っています。

輪投げの様子→

- ▶ 毎月第3金曜日 11:00～14:00
- ▶ 参加費：500円
- ▶ 場所：森本センター



サロンいわや

利用者7名・ボランティア6名

私たちの地域は伊丹の東の端、伊丹空港に面した岩屋です。少人数ですが月に一度ゲストさん達と昼食を頂き、トランプゲームをしたり、体操をしたり、年に一度は外に食事に出掛けたりしています。また、週に一度、先生に教えて頂きながら健康麻雀も楽しんでいます。健康麻雀時に100歳体操を企画していたところ、コロナ禍でサロンができなくなり残念です。

伊丹警察署から防犯対策の講演をしていただきました。→

- ▶ 毎月第4火曜日 11:30～14:30
- ▶ 参加費：500円
- ▶ 場所：岩屋センター



桑の実サロン

- ▶ 毎月第2木曜日 13:30～15:30
- ▶ 参加費：200円
- ▶ 場所：西桑津センター

サロン・ド・リバーサイド

- ▶ 毎月第2土曜日 10:00～12:00
- ▶ 参加費：100円
- ▶ 場所：いながわセンター

昆陽里校区

サロンは笑顔と元気の
エネチャージ！！



昆陽里ハナミズキサロン

利用者15名・ボランティア約10名

コロナ対策のため昨年3月以来長らく自粛中でしたが、再会を待ち望む多くの声に後押しされ、感染防止には万全を期して山田東センターにて10月14日に開催。これまでは食事会の後、ゲームや舞踊、落語、ウクレレやオカリナの演奏会などお楽しみプランのほか講師をお招きして講演など、また年1回は外に出てバラ鑑賞や社会見学にも出かけています。今回は久々に皆さんと“再会＆再開”できた喜びのお祝い気分で、ちょっと豪華なお弁当（大好評！）を奮発、お持ち帰りいただきました。いつも和気あいあいでの笑いの絶えない楽しいサロンです。



荒牧バラ公園



落語会 ←



豪華お弁当
お持ち帰り ←

寺本東サロン

利用者20名・ボランティア4～5名

当サロンは月1回、食事会や茶話会を開催。食事会は弁当や手作りの汁物など茶話会ではお菓子や飲み物をお出ししています。定番のゲームやカラオケの他、時には勉強会も。何より協力委員等ボランティアの方々が明るく美人ぞろいでしかも料理上手。利用者の皆さん、いつも大満足で帰られます。当初一人暮らしの方を対象に始めたのですが今では来たい方はどなたでも！と門戸を広げています。いつも元気な笑顔と楽しい会話の弾むサロン、これからもずっと長く続けていくことが私たちスタッフと利用者の皆さん全員の願いです。



社会見学



茶話会 ←



ゲーム ←

第1地区 第1ブロック (伊丹・有岡)

有岡校区 畑 喬

令和2年10月6日(火)伊丹校区と有岡校区とのブロック会でコロナ対策を十分行い、勉強会を開催しました。

当初の予定では災害時必要なベッド等を作る段ボール工場を見学の予定でしたが、コロナの影響で断念、社協参加のもと、出席者すべてにコロナ禍での民生委員活動の問題点、疑問点等の意見交換会に変更しました。

実態調査、赤ちゃん訪問等、コロナによる影響等、様々な発言、助言があり、有意義な時間を過ごせました。

今後の民生委員活動の参考になったと思われます。



第1地区 第2ブロック (神津・緑丘・瑞穂)

瑞穂校区 木村 信江

令和2年10月7日(水)マルチメディアホールに於いて、第1地区第2ブロック会が開催されました。議題は「子どもを守るネットワーク」について、伊丹市社会福祉協議会の丸山様のお話でした。



私達民生委員は、お一人暮らしの方とかサロンで高齢者の方に接する事は多いのですが、子どもとのかわりは少なく「こんにちは赤ちゃん」でお母さんにお会いするぐらいでしょうか。

その時玄関先をお借りして、アンケートにお答え頂いていますが、お兄ちゃんお姉ちゃんが明るく迎えて下さり家庭環境がうまくいっているなあ～と感じたり、初めての赤ちゃんで気持ちにゆとりのない方もいらっしゃると思います。子どもが小さいうちに方向性を見つけて、心身共に健やかに育てて欲しいです。

講演の中でお母さんや子どもからのSOSを早く見つける事が早期発見、早期解決につながるとおっしゃっていました。

また、通報する人も法律で守られています。民生委員は市役所のこども福祉課に躊躇する事なく報告するのが仕事だと思いました。

第1地区 第3ブロック (天神川・荻野・鴻池)

天神川校区 赤瀬 幸恵

日時：令和2年10月17日(土)

場所：きららホール

テーマ：伊丹市社会福祉協議会と関係機関について

講師：清原 嘉彦氏(地域福祉推進室長)

当日は35人の参加でした。このコロナ禍のなか新任の民生委員・児童委員も多数いるなか、いろいろなことが中止になっているので改めて学習することを目的に開催しました。話の中ではコロナの影響で減収になった人への制度について詳しく知ることができました。また何処に相談すれば良いか解らないときには、社協に相談すればいいとの事でした。

第2地区 第1ブロック (南・摂陽・鈴原)

鈴原校区 中藤きみえ

令和2年11月30日(月)コロナ感染拡大の中、三密を避け東りいたみホールの中ホールでブロック研修会を開催しました。

伊丹市社会福祉協議会常務理事 武田好二様に市立伊丹病院と近畿中央病院の統合再編について、伊丹市として今後どのように統合再編を進めていくのか基本的な考え方や公立病院として地域へ提供する医療機能、果たすべき役割、基幹病院建設の施設整備の方向性等のお話を伺いました。また、伊丹市社会福祉事業団常務理事 林秀和様に伊丹市社会福祉事業団の老人ホーム等再整備で養護老人ホーム松風園・特別養護老人ホーム桃寿園の移転、再整備についての概要をお聞きしました。

第2地区 第2ブロック (笹原・昆陽里・花里)

花里校区 寺岡真貴子

令和2年11月17日(火)マルチメディアホールにて、市社協地域福祉推進室室長 清原嘉彦様より「伊丹市社会福祉協議会と関係機関について」のお話を伺いました。

それぞれの地域において、人々が安心して暮らせるように、市社協を通じて早期に、各関係機関(地域包括支援センター、地域生活支援センター等)と連携する事が、困り事や問題の解決につながる事だと思いました。いろいろな研修が中止になる中、今日の清原様のお話がよく理解でき、私達にとって、とても有意義な時間となりました。

第2地区 第3ブロック (池尻・稲野・桜台)

朝山 和美・齋藤由美子・中井 君子

日時：令和2年12月3日(木)

場所：アイ愛センター

3階 大集会室

講師：伊丹市社会福祉協議会

総務課長 丸山孝興氏

講題：「子どもを守るネットワーク」

▶児童虐待は家族からのSOS

多くの児童虐待は保護者の心が追い詰められた末の行動です。児童虐待は家族危機の一つの現れであり、周囲に向けて発するSOSと見ることができます。虐待によって、家族、子どもはともに深く傷つき、長期にわたる深刻な影響を残すこととなります。そのため、まず早期発見と早期対応が重要となります。虐待と断定する必要はありません。抱え込まずに見たこと、聞いたことをそのまま通告することが必要です。SOSがキャッチできれば、子どもの安心・安全の確保や、心が追い詰められた保護者を救うことに繋がります。(レジュメより抜粋)

今回の講演をお聞きして未来をにう子ども達がすこやかに成長するよう民生委員・児童委員として微力ながら何が出来るか考えねばならないと思いました。コロナ下での研修会だったので研修のみで交流会は中止としました。

(参考) 児童虐待防止24時間ホットライン 072-759-7799



新任 民生委員 児童委員

令和2年4月委嘱



伊丹校区
早川 信子



伊丹校区
山内 寛



緑丘校区
前山 彰代



緑丘校区
深江 和子



緑丘校区
上垣 博和



瑞穂校区
中井 由紀



鴻池校区
木下 晴美



鴻池校区
荒西 克招



南校区
藤井美栄子



南校区
高橋 江里



笹原校区
三原 典子



笹原校区
原田 幸恵



昆陽里校区
日出 育子



昆陽里校区
石井 陽子



稲野校区
小山 千里

令和2年8月委嘱



緑丘校区
喜多 伸介



鴻池校区
宮下 和也



鴻池校区
江崎絵里子



笹原校区
白瀬 都



池尻校区
村山 茂



主任児童委員
田中いづみ



伊丹校区
藤川 由江



笹原校区
山崎 計子

令和2年12月委嘱

令和2年度
厚生労働大臣表彰



花里校区
日名加代子

令和2年度
全国社会福祉協議会会長表彰



南校区
古石 美保

令和2年度
全国民生委員児童委員連合会会長表彰



昆陽里校区
藤田 和美

令和2年度
兵庫県知事社会福祉事業功労者表彰



天神川校区
赤松 清子

「コロナ、皆さん正直どう思っていますか？」 緑丘校区 秋山 勝敏

令和2年8月14日、グループラインで表題を呼びかけ、約10名のサロンスタッフで今後の「サロン運営」について話し合いをしました。

「まだ早い。治療薬がない」、「5人以上集まったら、アカンでしょ?」、「私達も感染するかも?」、「耳が遠い方々、離れて話できる?」、「仕切りして黙ってご飯食べて、おもしろいか?」、「このまま放っておいたら、サロン消滅する」、「対策して、やったら?」、スタッフ一人ひとりの正直な意見が出ました。

サロンは一人ではできません。利用者に懇願されても、スタッフが躊躇すると、できません。結局、スタッフの同意が必要と考えました。同意を得る内容は、サロンの目的・利用者の事と対局にあるスタッフの事です。

利用者は自宅では一人が多く、遠出する事は少なく、なかなか「生活の中で楽しみ」が少ない方々であり、「楽しみ」の一つにサロンがあると認識。これはスタッフ全員に同意が得られました。次に、スタッフが出来る事、協力して頂ける事、許して頂ける事を話して、「お弁当はダメ」という事が分かりました。結果、「お茶とお饅頭で茶話会、1時間開催」で、継続する事を決めました。

今後もコロナに振り回される事になると思います。継続が良い、中止が悪いという事ではなく、皆で話し合ったことこそ良かったと思います。現在、御苦労されている全てのサロン運営関係者の一助となると幸いです。

ご協力ありがとうございました

赤い羽根共同募金

6,154,219円のご協力をいただきました。
法人募金は、203団体、755,340円です。
(令和2年12月9日現在)



編集後記

広報誌「いきいき」35号は、コロナ禍の為一年ぶりとなりましたが、皆様のご協力により無事に発刊する事ができました。ありがとうございました。

このような大変な状況の中、活動において試行錯誤を重ねられている事と案じます。次号も、皆様に何らかのお役に立てる広報誌となるよう、努めてまいります。

笹原校区 逸見 容子

発行所 伊丹市民生委員児童委員連合会
編集 伊丹市民生委員児童委員連合会 広報部

〒664-0014 伊丹市広畑3-1 いたみいききプラザ内
TEL 072-779-8512 FAX 072-777-0722